

バルブを選定するポイントとは？

1. 目的を確認する : 【流す・止める】 or 【流量を調整する】
2. 使用条件を確認する : 【流体名】 【温度】 【濃度】 【圧力】
3. 必要流量を確認する : 【Cv値】



ダイヤフラムバルブのGoodポイント、ボールバルブのGoodポイント

一般的には、開閉の楽さやコスト面から、ボールバルブを選ばれるお客様が多くなっています。しかし、ボディーと隔膜でシールする安心感もあって、プラントの厳しい使用条件ではダイヤフラムバルブを選択されるお客様も多くなっています。(ダイヤフラムバルブはPTFEの選択も可能です)



ダイヤフラムバルブ		ボールバルブ
15~250mm ○	呼び径	△ 13~100mm
開度に比例したリニアな流量制御 ○	流量調整	× 流量調整には向いていない ※ Flow Control 仕様は別途あり
シール材にPTFE選択可高い耐食 ○	耐食性	△ PTFEには及ばないが、FKM系もラインナップ有
Cv値 185 △	最大流量 (例：サイズ100mmの場合)	○ Cv値 680
ダイヤフラム(隔膜)の上下によって開閉 △	開閉操作	○ 球状の弁体を90°回転して開閉
重量 11.5kg △	軽量/コンパクト (例：サイズ100mm/U-PVC/EPDM/フランジ式の場合)	○ 重量 10.5kg
ボールバルブと比べると高価 △	価格面	○ 比較的安価
ダイヤフラム(隔膜)のみ交換可 ○	メンテナンス性	○ キャップナットを外して交換可

※ボールバルブにて流量調整が可能な、Flow Controlタイプがございます。 [> 詳しくはこちら](#)

配管設備の選定にお悩みの際は、
お問い合わせください！旭有機材の営業員が
適切なバルブ選定をお手伝いします！

▶ 旭有機材へお問い合わせ